

メタバースコース

メタバース（仮想空間）に秘められた可能性 ～インターネット上のもう一つの世界～

メタバースとは、インターネット上の仮想空間のことを意味しています。コロナ禍で交流の場としての利用が進み、現在は、ゲームやコミュニケーションツールとしての活用が注目されています。本講座では、講話や体験を通してメタバースについて学びを深めました。

第1回

メタバースの誕生 ～始まりはSF小説～

熊本学園大学
名誉教授
境章先生

1992年発表のSF小説「スノウ・クラッシュ」の中の、予言的描写の紹介にはじまり、コンピュータの歴史、AR・VR、メタバースの歴史を解説。



第2回

メタバースを体験しよう！① ～インターネット上のもう一人の私～

アビリティスクール・マリオネット
代表取締役
村上奈美先生

オキュラスクエストのヘッドセットとコントローラーを実際に装着し、メタバースの世界を実体験。スマホでホホジロザメを3D表示する体験も。



第3回

メタバースを体験しよう！② ～教育やまちづくりにも活用～

熊本学園大学名誉教授
境章先生
熊本学園大学経済学部4年
藤岡大貴氏

バーチャルと連動した新しいまちづくりとして、学園大生が関わった西区の活動を紹介。同大生作成のメタバース作品実演ほか、メタバース作成方法も紹介。



第4回

メタバースの未来 ～映画の世界が現実に!?～

株式会社 QoQ
代表取締役
古田貴彦先生

デジタルツインなど、現在の利用シーンを動画で紹介。法整備など、今後の課題や「2030年までに五感で体験するインターネットが主流になる」と将来の話も。



第5回

私たちの生活とメタバース ～経済効果とともに考える～

熊本学園大学
名誉教授
境章先生

スマホの普及で時間やお金をバーチャル上で消費するようになった昨今。ブロックチェーンが仮想通貨を保证することで、バーチャル経済を推し進めることなどを学びました。



▲3回にわたりご登壇いただいた熊本学園大学名誉教授 境章先生。2回目では、スマホに装着するとメタバースが体験できる機器も紹介



▲第2回アビリティスクール・マリオネット代表取締役 村上奈美先生は、オキュラス・クエストを持参。受講生一人一人が装着体験しました

受講生の感想

- ・専門的な内容で関心が高まりました。メタバースの利用例を知る事ができ、今後の発展にも目を向けることができました。
- ・びっくりする事ばかりでした。世の中がこんなに進んでいるとは、知らなかったです。
- ・知らない事を教えていただきました。ゴーグル装着などの体験もあってわかりやすく、理解できました。
- ・久しぶりに県民カレッジ再開されて参加でき、とてもうれしかったです。仕事で参加できない曜日がありますが、できるだけ曜日があう日を選んで見つけて興味のある講座に参加したいと思います。